

活動名:第16回田村市常葉カップU-12

日 程:平成29年 7月15日~16日

会 場:田村市陸上競技場

参 加:T6クラス15名

帯 同:設楽・熊坂(1日目)・貝和(2日目)コーチ

結 果:第9位/12チーム中(3位リーグ優勝)

報 告:設楽コーチ

予選リーグ

VS リガーズ △ (前0-3・後3-0・計3-3)

簡単に3点を前半で失点してしまう初戦のエンジンがかからないいつもの試合運びとなりましたが、得点を意識させて怒涛の攻撃で何とか3点を奪い引き分け。始めから後半のような試合ができていれば余裕で勝利できたのに残念・・・(泣)

VS 柴宮 SSS ● (前0-2・後0-0・計0-2)

試合開始3秒でキックオフシュートを決められ、また相手の早いドリブルで振り切られ前半早くに2点失点。初戦同様に追う試合運びとなり前半終了。雷が鳴りハーフタイムで30分間中断。ミーティングで気持ちを高めて後半に挑むが、リガーズ戦のように得点はできず終了。勝てば1位通過、引き分けで2位通過、負けたことによりリーグ最下位となり選手たちは悔し涙・・・(泣)

3位トーナメント

VS 行健 SSS ○ (前2-0・後4-0・計6-0)

相手は5、6年生が他大会で4年生以下のチームとの試合。相手陣地での試合運びでしたがシュートが相手キーパーの正面やゴール枠外で大量得点のチャンスが前半はやっとの2点。ハーフタイムで喝を入れて後半は少し正確性が出てきて得点でき、結果は勝利ですが、シュートの精度に課題が残る・・・

VS 富田 SSS ○ (前3-0・後5-0・計8-0)

またもや相手は上級生が他大会に出て4年生以下のチームとの試合。ほとんどが相手陣地での試合運びでしたがシュートがなかなか入らず大量得点のチャンスが前半はやっとの3点。焦ってシュートすることの修正を伝え、後半は少し正確性が出てきて得点できました。結果は大勝ですが、前の試合と同様にシュートの精度に課題が残る・・・

結果 3位トーナメント優勝(第9位/12チーム参加)

(感想)

毎年参加させていただいている常葉 SSS さん主催の「第16回田村市常葉カップ」ですが、今回はトップ6クラス1チーム、小野FCさん合同チームにT5クラス、U-10の部にエンジョイ4クラスのリフティング上位者3名が参加し計3チームで出場しました。

今回の大会は熊坂コーチが所用で初日のみの参加であったため、私が数年ぶりのトップ6クラスの指揮をとることになりました。久しぶりのU-12大会だったので選手たちがどれだけ頑張ってくれてくれるかとても楽しみでした。数日前から選手それぞれの練習時のプレーの様子や個性を思い出し試合で戦うメンバー構成やフォーメーションなどを事前にシミュレーションして当日を迎えました。

今年は波崎遠征と常葉カップが同日であったため、常葉 SSS さんとの長年のお付き合いを大切に遠征を辞退しました。

大会の様子や選手たちについては主な内容を以下にまとめてみました。

★コーチが出場メンバーを決め、選手交代について

大会は指揮をとるコーチに委ねられていますが、私は出場メンバーや選手交代などは主に以下のことを重視して決めています。

やはり、参加した選手みんなを平等に出場させてあげたいのですが、大会は練習試合とは違い緊張感やチームとしての結果も大事です。また、選手たちには貴重な経験の場であると考えています。

相手チームのレベルや当日の選手たちの様子も加味して、適正なポジションやフォーメーションを決めています。

主なポイントは以下のとおりです。

- 日々の練習中の真面目な姿勢や努力をしている子
- 試合当日アップ時の戦う顔（目）をしている子
- 一緒に戦う仲間のために体を張り、相手のボールを奪う気持ちがある子
- 積極的にゴールを奪いにいく子 etc

上手だから、下手だからといったことよりも、気持ち的なことが大きいですね。

★試合中のコーチングについて

当たり前ですが、コーチも試合では選手たちと一緒に相手と戦っている気持ちです。簡単にボールを奪われたり、相手のプレッシャーが無い場面で気の抜けたプレー（パスミスやトラップミス）を繰り返す選手には、周りの選手たちのモチベーションを下げてしまいムードが悪くするため、本人の気持ち入れ直す厳しい声掛けをしています。その気の抜けたプレーを認めてしまうと本人の成長はないと思っています。また、良いプレーはしっかり認めて褒める声かけをして盛り上げてあげます。中にはミスをし

でも何事もなかったようにする姿があり、みんなに大きな声で「ごめん！」などと謝ることができるようになればいい選手ですね。その謝罪の声に仲間が「次は頑張ろう！」と声を掛け合うことができるチームは理想ですね。

特に6年生は来年中学生になります。楽しいだけでのサッカーは中学の部活やクラブチームにおいてレギュラー争いで簡単にくじけてしまうでしょう。そんな次のステージでもアーレで培ってきた様々なことが生きてくるように選手たちのためにも厳しいコーチングをコーチみんなで心がけています。

★今回の選手たちに足りなかったプレーについて

5試合を通じて感じた今の選手たちに足りない主なプレーは以下のようなことですが、これもまた気持ち的なところを求めています。

- ボールを怖がらないこと。
- 浮き玉は頭で相手よりも先に触ること。
- 相手のドリブルに飛び込んで簡単に抜かれないこと。
- シュートを枠にしっかり蹴り込むこと。
- ボールを受けたら初めにゴールを目指す判断をすること。 etc

これらはサッカー選手として基本的なプレーですが、日々の練習で取り組んでおり、習得には個人差がありますが、長年の指導の経験からその子が真剣に練習に励んでいるか？コーチの話を聞いて理解しているか？などが習得に差が出てしまいます。

私たちコーチたちは週末に選手たちと練習で向き合っているため、気持ちが入っている子、入っていない子など様子が良くわかります。

頑張っ克服するためにチャレンジを繰り返してくれる子は上手になります。しかし、すぐにあきらめてチャレンジを恐れる子、ふざけて練習をしている子はいつまでも技術が向上しません。残念ですが試合になるとその差ははっきりとわかってしまいます。

その子のサッカーに対する姿勢次第では今後大きく成長しますので、保護者の方々には子供たちの成長を陰から見守り、時にはサッカーに対する子供のなまけた姿勢を見ていただき、「喝」を入れたり、愛のムチをお願いしたいと思います。

★印象に残る良いプレーや姿勢などについて

試合中や休みの時間などでも良いプレーや姿勢が見られました。

- 備品当番を私が指名しましたが、最後まで役目を果たしてくれました。
- 休み時間や昼食時などは仲間と仲良く明るく過ごしてくれました。
- 与えられたポジションをみんなが嫌がらずに全うしてくれました。
- 相手キーパーが蹴った高いボールをヘディングで勇敢に向かっていってくれる子がいました。

- 遠めからシュートを打つことで得点力を上げるチャレンジを求めてたことを一生懸命チャレンジしてくれた子がいました。
- 試合中に声をかけると、こっちをしっかりと見て「はい！」という姿勢を見せてくれた子がいました。
- 相手のプレーを予測して、相手より先にボールを触ることを心がけてくれた子がいました。
- 女の子1人でも男の子たちと同じ行動をして、試合でも負けない気持ちを見せて頑張ってくれた子がいました。

他にもたくさんありますが、振り返って印象に残ることを紹介しました。

また、T6クラスのメンバーと大会と一緒に戦える日を楽しみしております。

アーレはサッカーがうまくなりたい子が集まるクラブです。スポ少とは違いサッカーの技術向上を目的としたスクール形式の「サッカーの塾」のようなスタイルです。サッカーが上手になりたいというその子たちの強い思いや夢を大切にして、これからも熱い指導を行い選手たちの個人技術の向上につながるようコーチ一同頑張っていきたいと思えます。

暑い中、保護者の方々には子供たちの応援と備品の運搬や設置などにご協力をいただきありがとうございました。

また、小野FCさんには今回もトップ5、エンジョイ4選抜の選手たちを温かく迎えていただき一緒に合同チームでプレーをさせていただき有難うございました。私はT6の指揮で試合をしっかりと見る事ができませんでしたが、選手たちの顔がいつもどおりサッカーに真剣に向き合っている良い顔をしていたので頑張ってくれたことと思っております。

大会を運営された常葉SSSさん、関係者の方々、参加されたチームの方々に感謝し、報告といたします。ありがとうございました。

コーチ：設楽









小野 FC 混成チーム





U-10小野FC 混成チーム

